

駒大 000 010 100 2
 国学大 230 010 00X 6

中継ぎ陣奮闘も、

打線繋がらず...

駒大2—6国学大

1回戦

2013年度秋季リーグ戦
 第3週 9月24日
 1勝2敗

打安点

(9)砂川	410
(4)前田	300
PH柳原	100
4松本	000
(6)下川	400
(8)江越	421
(5)福山亮	410
(3)篠原	300
PH西村	100
(7)齋藤	431
DH長谷川	200
PH永山	000
PR小森	000
PH川合	100
(2)岩崎	100
PH福山慎	100
2高橋亮	100
計	3472



今季一号を放った江越

昨年、国学大に唯一負け越し、優勝を逃した。雪辱を果たしたい今季だったが、先発今永昇太(経2)が踏ん張れず、5回までに6失点。7回には主砲の江越大賀(法3)から今季1号ソロが出るが、散発7安打2得点に抑えられ先勝を許してしまった。

先発の今永は初回、いきなり2点の先制を許すと、2回にも本塁打を含む3安打を浴び、2回までに5点を失う。「相手バッターのほうが上だった」と振り返り、今永は5回でマウンドを降りる。国学大先発のエース杉浦穂大(4年||帯広大谷)の前に無安打に抑えられていた打線は5回、江越がチーム初安打となる二塁打を放つと、

文||藤本一輝
 写真||五十嵐秋音

「流れを切り替えようと思った」と齋藤導久(法3)が左中間へ適時打を放ち1点を返す。7回には江越の右方向への痛烈な本塁打でさらに追加点を奪うが、反撃もここまで。中継ぎ陣は6回以降を無失点に抑えるが、打線はあと一本が出ず、得点には結びつかなかった。試合後西村亮監督は今永に対して、「調子はよくない。球が中に入っていたのを修正できていなかった。勝負所でコントロールがずれている」と厳しく評価。昨季最多勝の今永も、開幕以降すでに2敗目。昨季の連敗からの悔しさを晴らすには明日からの2連勝が不可欠となった。

▽本塁打=江越
 ▽二塁打=江越、齋藤

回 打安点

●今永	5	2365
高橋涼	1	410
箱島	1	300
中川	1	400

2回戦

2013年度秋季リーグ戦
 第3週 9月25日
 2勝2敗

国学大3—4駒大☆

国学大 111 000 000 3
 ☆駒大 011 011 00X 4

逆転呼びび込む好投で
 箱島初勝利!

一、二塁のピンチを招くが、この日2安打の5番・水野一世

先発・片山雄貴(経2)は立ち上がりを相手打線につかまり、2回2安を投げ3失点と打ち込まれるが、続く継投は堅実だった。3回から登板した2番手、箱島章矢(地1)は「スライダーがきれていた」と6回までパーフェクト。7回には2死

序盤、2点を先制されるが2回裏には江越が二塁打で出塁すると齋藤の適時打で1点を返す。その後打線は小刻みに点を加え、逆転勝利。春に抑えられた相手投手を攻略する形となった。

文||中尾彰人
 写真||五十嵐秋音

(3年||遊学館)を遊飛に打ち取るなど、要所を抑える投球をみせる。打線は6回、先頭の西村凌(法4)が右中間に安打を放つ。続く長谷川雄飛(法1)が犠打で好機を作ると、この日2三振だった岩崎誠悟(仏3)が適時打を放ち勝ち越し。春に打ち崩せず、2敗した柿田竜吾(4年||旭川大高)に雪辱を果たした。「粘って粘って、我慢して勝てたのは大きい。次戦は全員で勝ち点をとれるように頑張る」と主将・松本皐兵(地4)。1勝1敗で迎える3戦目。全員野球で勝ちにいこう。

打安点

(9)砂川	310
(4)前田	300
(6)下川	411
(8)江越	221
(5)福山亮	200
(7)齋藤	411
(3)西村凌	420
DH長谷川	210
(2)岩崎	311
	2794

回 打安点

片山	22/3	1752
○箱島	41/3	1510
高橋涼	2	710

松本主将が選ぶ!

今日のベストプレーー「箱島ですね」

ベストプレーー「箱島のピッチング!」



要所を抑える投球をした箱島